

## 第9回堺市地域公共交通会議議事録

日 時 平成26年12月18日（木）午前15時～17時

場 所 堺市消費生活センター

出席者 波床正敏、正木啓子、古角利裕（欠席）、黒田司郎（欠席）、大野秀雄、  
今村光伸（代理）、石井健章、松本長兵衛、長谷潤、黒坂直樹（代理）、藤原広行、  
服部幸一（代理）、久保田耕一（代理）、原田一郎、島田憲明  
（以上13名、敬称略・名簿順）

配布資料 第9回堺市地域公共交通会議 議事次第

第9回堺市地域公共交通会議 出席者名簿

第9回堺市地域公共交通会議 配席図

資料1 乗合タクシーの実証運行内容の改善について

資料2 堺市乗合タクシー利用者のおきかせください

資料3 堺市乗合タクシー利用者アンケート調査

資料4 使ってみよう 堺市乗合タクシー

資料5 「堺市乗合タクシー」に関する調査票

### 議事録

#### （1）乗合タクシー実証運行内容の改善について【資料1前編，資料2，3，4】

波床委員 本議題については、事業の許可申請にあたって、地域公共交通会議での合意が必要となります。後ほど議決をとることになっていきますのでご協力をお願いいたします。それでは、乗合タクシー実証運行内容の改善について、事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

波床委員 只今説明頂いたのは、実証運行の現況の報告、アンケート調査実施の報告、実証運行期間中の運行内容の改善（増便、予約受付、ルート変更）について大きく3つの内容の説明がありましたが、何か質問はありますでしょうか。

波床委員 現在年間負担額が7百万円程度ですが、もともと予算はいくらだったでしょうか。

事務局 市としても初めての取組みであり、当初35百万円の予算枠を用意していました。その中で、利用率を上げていくために運行内容の改善を図っていきたいと考えています。

波床委員 通常は負担額が軽減されることはよいことだが、この事業の趣旨を考えると予算枠の中で改善を図って、より使っていただけるようにしたいとのご意見ですが、みなさまいかがでしょうか。

石井委員 認知度アップ・利用促進に向けた広報活動として、チラシ以外にジェイコム堺の広報番組などの利用は検討されていますか。

事務局 広報活動について、今のところ広報さかい、ホームページを全市的な広報として使っています。ジェイコム堺の利用は今のところ検討しておりません。また、乗合タクシーは地域を限定した制度になっていますので、外からの利用も考えられますが、基本

的には市内の交通不便地域を中心に広報を行い、利用促進を図っていくこともねらいとしています。

波床委員 市に税金を払っている方へも、事業の理解を促すための周知が重要になるかと思えますので、いろいろな方法での周知活動も今後ご検討いただければと思います。

石井委員 P17 のルート設定について、西除川での分断はありますが、終点駅を最寄りの狭山駅にしてもよいのではないのでしょうか。

事務局 P17 に示す地点A、B付近の方々は、直線距離では狭山駅が近いのですが、西除川で分断されていることもあり、北野田駅を利用されていると聞いています。

波床委員 追加する停留所の位置は狭山駅に近いですが、その他は北野田駅の方が近いですし、狭山駅は市外ということもありますので、ルートとしては妥当と感じます。

石井委員 増便として考えているのは12時台で、新しいダイヤを入れ込む形で考えておられるのでしょうか。

事務局 お手元のパンフレットの中で時刻表がありますが、ここにある1から4便の時刻は変えずに、2便と3便の間に増便する予定です。

石井委員 事業者への影響はどうでしょうか。

事務局 事前のヒアリングで運行可能であると聞いています。予算的にも可能です。

正木委員 運行内容の改善ということで、増便して欲しいというアンケート結果が出ていますので、実証運行のなかで増便するのは良いと思います。また、予約受付の締め切りを2時間前までに改善するということですが、今までの9ヶ月の間に乗合タクシーの受付で何かトラブルなどあったかどうか教えてください。

事務局 「雨の日等に事業者へ電話がつながりにくい」という問い合わせを受けることがあります。それ以外には、予約時間について「今日使いたいが今から予約しても間に合わないですね」といった電話がありました。

波床委員 締め切り時間を2時間前にすると若干改善されます。今後、改善内容を実施し、再び本格運行に向けて改善する協議の場はあるのでしょうか。

事務局 これまでの状況と改善後の状況を踏まえて協議を行う予定です。

波床委員 本日の議題内容について改善をして、それが本格運行でもずっと続くのではなく、また改善を図っていく予定ということですね。

石井委員 利用状況や運行内容の改善について説明していただけていますが、停留所の設備について改善する予定はあるのでしょうか。実際に乗合タクシーの停留所を見ると、屋根や椅子等は設けられていません。本格運行に向けて設備面の改善はどのように考えているのでしょうか。

事務局 乗合タクシーの停留所への上屋やベンチの設置については、道路が狭いところも多く現実的には厳しいと考えています。

石井委員 ほとんどの利用者が高齢者であり、また障害者の視点から考えても、難しいとは思いますが、椅子等の設備は必要ではないのでしょうか。今回のアンケートにも17時台の運行を増やして欲しいという回答が多かったが、この時間帯の道路はとても混雑しており、

到着の遅れも考えられるので、今後の本格運行に向けて、椅子等の設備の必要性についてもご検討いただきたい。

波床委員 バス停のベンチ等については、行政やバス会社が設置しているケースは少なく、背もたれについている広告が主体です。よくあるケースでは沿線の有志の方が設置することが多いのが現状です。乗合タクシーでも全ての停留所にベンチ等を設置するのは難しく、現状ではそういった取組に期待せざるを得ないのではないのでしょうか。これは乗合タクシーに限らず市内のバス停共通の課題ではないかと思えます。

石井委員 現状は今の説明で理解できましたが、本格運行になればまた新しい事業者になることもありますので、その都度検討よろしく願いいたします。

正木委員 P3のGルートについて、利用者の合計人数が2桁68名ということで意外に少ないですが、Hルートに流れているのでしょうか。

事務局 並行しているバス路線があり、利便性が確保されていることも原因のひとつと考えています。

石井委員 Gルートのルート設定について経緯があると思うのですが、あえて既存のバス路線に並行するルートを設定した理由を教えてください。

波床委員 単純にバス停からの利用圏外の空白地域を結ぶようにルートの設定をしたと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局 今言われたように、住宅の集積状況等も考慮しながら、空白地域と鉄道駅を効率的に結ぶようにルートの設定を行っています。

波床委員 Gルートの沿線からは、なにかルート変更に関する意見はでているのでしょうか。

事務局 現在のところはいただいていません。今後、沿線の方へのアンケートで意見をお聞きする予定です。

波床委員 現在集まっている意見は利用者のご意見で、利用されていない方の意見は集められていないので、まだそのあたりの詳細までは分かっていないということですね。

波床委員 改善の提案が3点でありますが、この案について議決をしたいのですが、合意いただけますでしょうか。特に意見が内容ですので、この原案について合意いたします。

## (2) 乗合タクシーの今後のスケジュールについて【資料1：後編】

波床委員 続きまして、乗合タクシーの今後のスケジュールについて、ご報告ください。

<事務局説明>

波床会長 乗合タクシーの今後のスケジュールについて、何か質問ありますでしょうか。

石井委員 乗合タクシーの廃止について話を伺いたいのですが、どういう状況になれば廃止するのでしょうか。ふれあいバスの時は廃止の基準が分からなかったので、乗合タクシーの考え方を、後日の会議でもよいので示していただきたい。

波床会長 認可が通常の路線バスと同じなので、廃止についても同じ手順をとることになります。通常、使う人が少なく赤字が膨らむと廃止の話がでてくるのですが、お客が乗っていなくても走らせる必要がある路線バスと違い、乗合タクシーはデマンドで路

線バスに比べると経費が低く抑えられているため、運行を継続することについて経費面でのハードルは低いと思います。

事務局 全体ではかなりの方がご利用いただけている状況であり、現時点では廃止の検討はしていません。むしろ利用促進に向けて検討を進めています。ただし、ルートによって利用状況に差があるので、本格運行に向けて改善を検討していきたいと考えています。

石井委員 沿線アンケートの配布と回収の方法はどのように考えておられるのでしょうか。  
事務局 配布は沿線地域のポストに入れて、回収は料金受取人払いとする方法を考えています。

石井委員 項目が多いので、回答率が下がらないでしょうか。また、高齢者の方も多いのもう少し字を大きくするほうがよいと感じます。

波床委員 アンケートの印刷にはどのくらい余裕がありますか。意見をいただいて、反映できるタイムリミットはどの辺りでしょうか。

事務局 1月の中頃に印刷に入りたいので、1月7日までに意見をいただければ、検討します。文字はどのくらいの大きさが望まishでしょうか。

石井委員 見出しは濃くわかりやすいが、回答欄の文字が薄いので、その辺りのご検討をお願いしたい。「3つ以内に○印してください」とありますが、これくらいの字の濃さなら良いかと思います。

正木委員 問3と問12について、内容がかぶるので、少しでも減らして読みやすいアンケートになるようにご検討ください。また、問10の年齢構成ですが、どのような年齢層が利用しているのかを知りたいのであれば、知りたい所にターゲットを絞った年齢構成で聞いた方が良いのではないのでしょうか。また、利用案内について、ルートが沢山ありますが、どのような案内をされますか。

事務局 設問内容については、わかりやすいように検討したいと思います。また、案内については、ポスティングする地域に近いルートの利用案内を同封する予定です。

波床委員 問13も問3と内容が近いと思います。交通系のアンケートを作る側からすると、典型的な質問項目になりますが、質問項目を減らすといった点では、いただいたご意見を参考にしてください。

長谷委員 P23の本格運行に向けたスケジュールについて、平成27年2～3月にアンケートを配布・回収するという事になっていますが、できるだけ回収率をあげていただきたいと思います。一般の方のご意見はこのアンケートが最終でしょうか。パブコメやWEBでの意見募集などの予定はありますか。

事務局 沿線アンケートはこれが最終になります。広くというよりは、沿線の方に意見を聞いていきたいと考えているので今回はこのような方法にしたいと思っています。

石井委員 アンケートの問2について、「最もよく外出する場所はどこですか。(具体的に記入)」とありますが、個人情報の面で問題ないでしょうか。

事務局 例)と書いてある下に具体的に書いていただこうと思っています。住所の記載とあ

わせて、どの地域の方がどういうところへ出掛けているか知りたいので、可能な限り具体的に記載していただきたいと考えています。

波床委員 「さしつかえない範囲で具体的に記入ください」と記載したり、個人情報の取り扱いについて述べておくとのよいのではないのでしょうか。

事務局 広く行われている調査で、パーソントリップ調査というのがありますが、個人を特定できない形で、個人の行動について教えていただいています。具体的な行き先などを書いていただき、調査票にまとめて交通系の調査に使ったりするのですが、個人を特定できるような使い方はしていません。今回の調査も同じような考え方で進めたいと思っています。

石井委員 受け取った方からすると、市からのアンケートなので細かく書かなければいけないと思う人もいます。会長がおっしゃったように、個人情報取り扱いの記載など考えていただければと思います。

事務局 ご指摘の通り、注意書きを記載するようにします。

波床委員 後ほどお気づきの点がございましたら、事務局へご連絡ください。  
以上をもちまして、本日の議事を終了いたします。

事務局 次回、会議日程については、改めてご報告いたします。

以上